

科目	真宗学概説 I	開講時期 履修方法	2年前期 必修、専門科目
担当者	中島 航・三明智彰	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	私たちは自分の思いに先立って願われている存在である。そのことを『大無量寿経』本願文（第十二願から第十六願）から学ぶ。読解・講義・確認・攻究・発表を行う内容とする。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	本願文の学習を通して、すべての科目の基本軸として、出遇うべき仏教の精神を確認することができる。		
学習成果の評価基準	講義の準備、講義中、また学習・攻究において積極的な学びができていないかを確認し評価する。 学期末に学びの振り返りとしてレポート試験を実施する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	ガイダンス 授業の進め方について	予習：「授業要覧」を読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
2.	第一願から第十一願を振り返って① 講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
3.	第一願から第十一願を振り返って③ 確認	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
4.	第一願から第十一願を振り返って③ 学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
5.	第十二願 光明無量の願① 講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
6.	第十二願 光明無量の願② 学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
7.	第十三願 寿命無量の願① 講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
8.	第十三願 寿命無量の願② 学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
9.	第十四願 声聞無数の願① 講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
10.	第十四願 声聞無数の願② 学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
11.	第十五願 眷属長寿の願① 講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
12.	第十五願 眷属長寿の願② 学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
13.	第十六願 無諸不善の願① 講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
14.	第十六願 無諸不善の願② 学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
15.	まとめ	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
教科書	『本願文』（大阪伝研の会）		
参考書	『真宗聖教全書一』、『真宗聖典』、『新漢語林』、『岩波仏教辞典』		
学習成果の評価方法	受講態度（50%）、授業内発表（20%）、定期試験（30%）		
特記すべき事項	各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談の受付			

科目	真宗学概説Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 必修、専門科目
担当者	中島 航・三明智彰	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	私たちは自分の思いに先立って願われている存在である。そのことを『大無量寿経』本願文（第十七願から第二十二願）から学ぶ。読解・講義・確認・攻究・発表を行う内容とする。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	本願文の学習を通して、すべての科目の基本軸として、出遇うべき仏教の精神を確認することができる。		
学習成果の評価基準	講義の準備、講義中、また学習・攻究において積極的な学びができているかを確認し評価する。 学期末に学びの振り返りとしてレポート試験を実施する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	第十七願 諸仏称名の願① 講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
2.	第十七願 諸仏称名の願② 学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
3.	第十八願 至心信楽の願① 講義①	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
4.	第十八願 至心信楽の願② 講義②	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
5.	第十八願 至心信楽の願③ 学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
6.	第十九願 至心発願の願① 講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
7.	第十九願 至心発願の願② 学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
8.	第二十願 至心回向の願① 講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
9.	第二十願 至心回向の願② 学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
10.	第二十一願 具三十二相の願① 講義	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
11.	第二十一願 具三十二相の願② 攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
12.	第二十二願 還相回向の願① 講義①	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
13.	第二十二願 還相回向の願② 講義②	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
14.	第二十二願 還相回向の願③ 学習・攻究	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
15.	まとめ	予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間）	
教科書	『本願文』（大阪伝研の会）		
参考書	『真宗聖教全書一』、『真宗聖典』、『新漢語林』、『岩波仏教辞典』		
学習成果の評価方法	受講態度（50%）、授業内発表（20%）、定期試験（30%）		
特記すべき事項	各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等の受付			

科目	教行信証概説Ⅰ	開講時期 履修方法	2年前期 必修、専門科目
担当者	青木 玲	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	親鸞の著『顕浄土真実教行証文類』（『教行信証』）を読むことを通して、親鸞が明らかにした仏道を学ぶ。前期は、「総序」を読んでいく。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	『教行信証』「総序」の内容が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(1)を得ることができる。		
学習成果の評価基準	到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	授業概要	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
2.	『教行信証』の概要①	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
3.	『教行信証』の概要②	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
4.	「総序」の構成	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
5.	「竊以」と「謹案」	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
6.	難思の弘誓と無碍の光明①	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
7.	難思の弘誓と無碍の光明②	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
8.	『観無量寿経』序分①	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
9.	『観無量寿経』序分②	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
10.	逆勝闡提を恵まんと欲す	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
11.	円融至徳の嘉号と難信金剛の信楽①	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
12.	円融至徳の嘉号と難信金剛の信楽②	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
13.	円融至徳の嘉号と難信金剛の信楽③	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
14.	到達目標確認試験	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
15.	前期のまとめ	予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
教科書	『真宗聖典』		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度（50%）到達目標確認試験（50%）		
特記すべき事項			
質問・相談の受付			

科目	教行信証概説Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 必修、専門科目
担当者	青木 玲	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	親鸞の主著『顕浄土真実教行証文類』（『教行信証』）を読むことを通して、親鸞が明らかにした仏道を学ぶ。後期は、「別序」と「後序」を読んでいく。本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	『教行信証』「別序」「後序」の内容が理解できるようになる。本授業によって、仏教学科の学習成果(1)を得ることができる。		
学習成果の評価基準	到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	「別序」の構成	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
2.	「如来選択の願心」と「大聖矜哀の善巧」①	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
3.	「如来選択の願心」と「大聖矜哀の善巧」②	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
4.	沈迷の二機	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
5.	「愚禿釈親鸞」の名のり	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
6.	しばらく疑問を至してついに明証を出だす①	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
7.	しばらく疑問を至してついに明証を出だす②	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
8.	毀謗を生ずることなかれ	予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
9.	「後序」の構成	予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
10.	承元の法難①	予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
11.	承元の法難②	予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
12.	雑行を棄てて本願に帰す①	予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
13.	雑行を棄てて本願に帰す②	予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
14.	到達目標確認試験	予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
15.	後期のまとめ	予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間）	
教科書	『真宗聖典』		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度（50%）到達目標確認試験（50%）		
特記すべき事項			
質問・相談の受付			

科目	真宗学Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	安武智丸	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	インド・中国・日本三国の七祖は、それぞれの時代・社会が提起する人間の課題をもって釈尊の経説の真意を尋ね、その課題に応える道が本願念仏の教えであることを身をもって領かれた。しかも七祖はそれぞれ「前を訪ね、後を導く」ことで呼応し、真宗の伝統を培われた。その七祖のうち『正信偈』によって龍樹・天親・曇鸞三師が明らかにした仏道を学ぶ。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	大乘仏教の課題と展開および基礎概念を把握した上で、宗祖親鸞聖人の仏教史観を理解する。		
学習成果の評価基準	到達目標の達成度を測るため、定期試験を実施し、6割以上の正答を求める。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ガイダンス 大乘仏教の興隆と課題	『大乘の仏道』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
2.	本願名号のあゆみ 一よきひとのおおせー	『浄土の真宗』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
3.	仏者の伝統 一七祖を貫くものー	『浄土の真宗』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
4.	龍樹菩薩①龍樹の生きた時代とその学び	『浄土の真宗』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
5.	龍樹菩薩②釈尊を受け継ぐもの 一有無の見を破るー	『浄土の真宗』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
6.	龍樹菩薩③易行道を開く 一菩薩道の課題ー	『浄土の真宗』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
7.	龍樹菩薩④必定に入る 一現生不退 即得往生ー	『浄土の真宗』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
8.	天親菩薩①天親の生きた時代とその学び	『浄土の真宗』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
9.	天親菩薩②浄土を明かす 一願生浄土ー	『浄土の真宗』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
10.	天親菩薩③空過を超える 一本願力に遇うー	『浄土の真宗』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
11.	天親菩薩④成仏の門 一五念門ー	『浄土の真宗』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
12.	曇鸞大師①曇鸞の生きた時代とその学び	『浄土の真宗』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
13.	曇鸞大師②仙経を焼く 一五濁の世 無仏の時ー	『浄土の真宗』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
14.	曇鸞大師③回向の仏道 一他方回向ー	『浄土の真宗』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
15.	曇鸞大師④如実なる行 一凡夫の仏道ー	『浄土の真宗』を読む(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
教科書	『真宗聖典』『真宗聖教全書一』『大乘の仏道』『浄土の真宗』『正信偈』		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度(30%) 授業内課題(10%) 定期試験(60%)		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付			

科目	真宗学Ⅳ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	権藤正信	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	親鸞聖人は七祖を、その役割の上から論家と釈家に分けている。論家とは龍樹・天親・曇鸞の上三祖、釈家とは道綽・善導・源信・源空の下四祖をいう。特に下四祖は、「末法五濁」という時代社会と、そこに生きる「凡夫」という人間存在の課題を釈尊の教説にたずね、その課題に応える道が本願念仏の教えであることを身をもってうなずいていかれた。その一端を『正信偈』を通して学んでいく。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	『正信偈』道綽章・善導章・源信章・源空章の内容を理解できる。平易な漢文を訓読できる。道綽・善導・源信・源空の伝記と思想の概要を理解できる。		
学習成果の評価基準	定期試験において、6割以上の解答ができることを以て、到達目標を達成していると評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	道綽禪師 聖道門と浄土門 「道綽決聖道難証 唯明浄土可通入」	『正信偈』道綽章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
2.	道綽禪師 他力の念仏 「万善自力貶動修 円満徳号勸専称」	『正信偈』道綽章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
3.	道綽禪師 三不三信の教え 「三不三信誨惡勸 像末法滅同悲引」	『正信偈』道綽章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
4.	道綽禪師 誓願に遇うということ 「一生造悪値弘誓 至安養界証妙果」	『正信偈』道綽章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
5.	善導大師 独り仏の正意を明かす 「善導独明仏正意」	『正信偈』善導章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
6.	善導大師 悲しい凡夫を哀れむ 光明と名号 「矜哀定散与逆惡 光明名号頭因縁」	『正信偈』善導章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
7.	善導大師 金剛の信心 「開入本願大智海 行者正受金剛心」	『正信偈』善導章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
8.	善導大師 慶喜の一念 「慶喜一念相應後 与掌提等獲三忍 即証法性之常樂」]	『正信偈』善導章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
9.	源信僧都 偏に安養に帰す 「源信広開一代教 偏帰安養勸一切」	『正信偈』源信章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
10.	源信僧都 報土と化土 「専雜執心判淺深 報化二土正弁立」	『正信偈』源信章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
11.	源信僧都 極重の悪人 「極重悪人唯称仏 我亦在彼摄取中 煩惱障眼雖不見 大悲無倦常照我」	『正信偈』源信章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
12.	源空上人 善悪の凡夫人 「本師源空明仏教 憐愍善悪凡夫人」	『正信偈』源空章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
13.	源空上人 真宗 選択本願 「真宗教証興片州 選択本願弘惡世」	『正信偈』源空章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
14.	源空上人 疑いの心 「還来生死輪転家 決以疑情為所止」	『正信偈』源空章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
15.	源空上人 信ずる心 「速入寂靜無為樂 必以信心為能入」 まとめ 「弘經大士宗師等 拯濟無辺極濁惡 道俗時衆共同心 唯可信斯高僧說」	『正信偈』源空章を読んでおく(予習120分) 授業を振り返る(復習120分)	
教科書	『真宗聖典』 『真宗聖教全書一』		
参考書	「仏教辞典」「漢和辞典」		
学習成果の評価方法	受講態度(30%) 定期試験(70%)		
特記すべき事項	配付資料が散逸しないよう、フラットファイルを用意すること。		
質問・相談等の受付	授業後、個別に、相談があれば受け付ける。		

科目	真宗聖教講読Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	吉元信暁	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	『歎異抄』を読むことを通して、親鸞聖人があきらかにした仏道を共に尋ねていく。「おおたにカフェ」で『歎異抄』についての発表を行う。 また、卒業論文の作成に資するよう、発表形式でお互いに問いを深めていく。 本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・『歎異抄』の言葉、内容が理解でき、それを他者に伝えることができる。(知識、表現力) ・発表用のレジュメを作成し、発表することができる。(思考力、表現力) ・発表に基づいてまわりと議論し(攻究)、課題を深めていくことができる。(判断力) 		
学習成果の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・知識、思考力、表現力の達成度を測るために、①「おおたにカフェ」に向けた資料準備の取り組みと発表内容を評価する。 ②発表用レジュメ作成への取り組みと発表内容を評価する。 ・判断力の達成度を測るために、毎回の振り返りとレポートを実施して評価する。 		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ガイダンス シラバスの確認	予習: シラバスを読む(30分) 復習: ガイダンスの内容を振り返る(30分)	
2.	「おおたにカフェ」に向けた資料準備①	予習: 資料準備の構想(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
3.	「おおたにカフェ」に向けた資料準備②	予習: 資料準備の構想(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
4.	「おおたにカフェ」に向けた資料準備③	予習: 資料準備の構想(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
5.	「おおたにカフェ」に向けた資料準備④	予習: 資料準備の構想(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
6.	「おおたにカフェ」に向けた資料準備⑤	予習: 資料準備の構想(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
7.	「おおたにカフェ」での発表	予習: 発表準備(30分) 復習: 発表内容を振り返る(30分)	
8.	「おおたにカフェ」での発表の振り返り	予習: 発表準備(30分) 復習: 発表内容を振り返る(30分)	
9.	『歎異抄』「第2条」についての発表および攻究①	予習: 発表準備(30分) 復習: 発表内容を振り返る(30分)	
10.	『歎異抄』「第2条」についての発表および攻究②	予習: 発表準備(30分) 復習: 発表内容を振り返る(30分)	
11.	『歎異抄』「第2条」についての発表および攻究③	予習: 発表準備(30分) 復習: 発表内容を振り返る(30分)	
12.	『歎異抄』「第3条」についての発表および攻究①	予習: 発表準備(30分) 復習: 発表内容を振り返る(30分)	
13.	『歎異抄』「第3条」についての発表および攻究②	予習: 発表準備(30分) 復習: 発表内容を振り返る(30分)	
14.	『歎異抄』「第3条」についての発表および攻究③	予習: 発表準備(30分) 復習: 発表内容を振り返る(30分)	
15.	これまでの学習内容の振り返り レポート作成	予習: これまでの振り返り(30分) 復習: レポートの振り返り(30分)	
教科書	『真宗聖典』、『新漢語林』、『古語林』、『岩波仏教辞典』、『歎異抄』東本願寺出版		
参考書	三明智彰『歎異抄講義』		
学習成果の評価方法	「おおたにカフェに向けた資料準備の取り組みと発表内容」(20%)、「発表用レジュメ作成への取り組みと発表内容」(20%)、「毎回の振り返り」(40%)、「レポート」(20%)		
特記すべき事項	授業内でClassroomを使います。事務室でiPadを借りるか、自分のスマホを用意してください。		
質問・相談等の受付	授業後、研究室、九州大谷Online等、いずれの方法も可。		

科目	真宗聖教講読Ⅳ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	吉元信暁	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	『歎異抄』を読むことを通して、親鸞聖人があきらかにした仏道を共に尋ねていく。「おおたにカフェ」で『歎異抄』についての発表を行う。また、卒業論文の作成に資するよう、発表形式でお互いに問いを深めていく。本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・『歎異抄』の言葉、内容が理解でき、それを他者に伝えることができる。(知識、表現力) ・発表用のレジュメを作成し、発表することができる。(思考力、表現力) ・発表に基づいてまわりと議論し(攻究)、課題を深めていくことができる。(判断力) 		
学習成果の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・知識、思考力、表現力の達成度を測るために、①「おおたにカフェ」に向けた資料準備の取り組みと発表内容を評価する。 ②発表用レジュメ作成への取り組みと発表内容を評価する。 ・判断力の達成度を測るために、毎回の振り返りとレポートを実施して評価する。 		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	「おおたにカフェ」に向けた資料準備①	予習：資料準備の構想(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
2.	「おおたにカフェ」に向けた資料準備②	予習：資料準備の構想(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
3.	「おおたにカフェ」での発表	予習：発表準備(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
4.	「おおたにカフェ」での発表の振り返り	予習：発表準備(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
5.	『歎異抄』「第4条」についての発表および攻究①	予習：発表準備(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
6.	『歎異抄』「第4条」についての発表および攻究②	予習：発表準備(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
7.	『歎異抄』「第5条」についての発表および攻究①	予習：発表準備(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
8.	『歎異抄』「第5条」についての発表および攻究②	予習：発表準備(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
9.	『歎異抄』「第6条」についての発表および攻究①	予習：発表準備(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
10.	『歎異抄』「第6条」についての発表および攻究②	予習：発表準備(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
11.	『歎異抄』「第7条」についての発表および攻究	予習：発表準備(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
12.	『歎異抄』「第8条」についての発表および攻究	予習：発表準備(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
13.	『歎異抄』「第9条」についての発表および攻究①	予習：発表準備(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
14.	『歎異抄』「第9条」についての発表および攻究②	予習：発表準備(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
15.	これまでの学習内容の振り返り レポート作成	予習：これまでの振り返り(30分) 復習：レポートを振り返る(30分)	
教科書	『真宗聖典』、『新漢語林』、『古語林』、『岩波仏教辞典』、『歎異抄』東本願寺出版		
参考書	三明智彰『歎異抄講義』		
学習成果の評価方法	「おおたにカフェに向けた資料準備の取り組みと発表内容」(20%)、「発表用レジュメ作成への取り組みと発表内容」(20%)、「毎回の振り返り」(40%)、「レポート」(20%)		
特記すべき事項	授業内でClassroomを使います。事務室でiPadを借りるか、自分のスマホを用意してください。		
質問・相談等の受付	授業後、研究室、九州大谷Online等、いずれの方法も可。		

科目	教行信証講義 I	開講時期 履修方法	2 年前期 選択、専門科目
担当者	三明智彰	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	親鸞の主著であり、浄土真宗の立教開宗の「御本書」と呼ばれる『教行信証』（『顕浄土真実教行証文類』）を読み進めています。九州大谷短期大学の授業を公開する趣旨から、現役学生と共に科目履修希望者など社会人も受講できます。今年度は、「信巻」の信一念釈から読み進めていきます。本授業は仏教学科の学習成果(4)に対応する。		
到達目標	『教行信証』を朗読でき、その内容が分かるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(4)を得ることができる。		
学習成果の評価基準	授業中の朗読(15%)、質疑応答(15%)、小テスト(30%)、期末レポート(50%)によって、到達目標の達成度を評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	はじめに 『教行信証』の概要・信一念釈御自釈	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
2.	信一念釈・引証文『大経』・『如来会』・『涅槃経』の文	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
3.	信一念釈・御自釈・聞信一念釈	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
4.	共同学習	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
5.	信一念釈・御自釈・現生十種の益	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
6.	信一念釈・御自釈・一念転釈	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
7.	信一念釈・御自釈・一念転釈・引証文『論註』・『観経疏』の文	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
8.	共同学習	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	『親鸞聖人真蹟集成』第1巻(授業担当者が準備する)、『真宗聖典』		
参考書	山辺・赤沼『教行信証講義』(法蔵館)ほか適宜紹介する。		
学習成果の評価方法	授業中の朗読(15%)、質疑応答(15%)、小テスト(30%)、期末レポート(50%)		
特記すべき事項	積極的授業参加、原文朗読の練習、コミュニケーション能力を磨く。		
質問・相談等の受付	授業中は口頭・文章で、授業外は火曜日から金曜日日中のメールで早めに対応します。		

科目	教行信証講義Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	三明智彰	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	親鸞の主著であり、浄土真宗の立教開宗の『御本書』と呼ばれる『教行信証』（『顕浄土真実教行証文類』）を読み進めています。九州大谷短期大学の授業を公開する趣旨から、現役学生と共に科目履修希望者など社会人も受講できます。前期の続きから読み進めていきます。本授業は仏教学科の学習成果(4)に対応する。		
到達目標	『教行信証』を朗読でき、その内容が分かるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(4)を得ることができる。		
学習成果の評価基準	授業中の朗読(15%)、質疑応答(15%)、小テスト(20%)、期末レポート(50%)によって、到達目標の達成度を評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	前期の振り返りと後期の展望	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
2.	御自釈・三心一心問答総結・引証文『摩訶止観』の文	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
3.	御自釈・横超釈・引証文『大経』・『大阿弥陀経』の文	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
4.	共同学習	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
5.	御自釈・断釈・引証文『大経』・『平等覚経』・『涅槃経』の文	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
6.	断釈・引証文『槃舟讃』・『往生礼讃』の文 御自釈・真仏弟子釈	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
7.	真仏弟子釈・引証文『大経』・『如来会』・『観経』・『安楽集』の文	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
8.	共同学習	予習：該当箇所の朗読(30分) 復習：事後の朗読と内容理解の確認(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	『親鸞聖人真蹟集成』第1巻(授業担当者が準備する)、『真宗聖典』		
参考書	山辺・赤沼『教行信証講義』(法蔵館)ほか適宜紹介する。		
学習成果の評価方法	授業中の朗読(15%)、質疑応答(15%)、小テスト(30%)、期末レポート(50%)		
特記すべき事項	積極的授業参加、原文朗読の練習、コミュニケーション能力を磨く。		
質問・相談等の受付	授業中は口頭・文章で、授業外は火曜日から金曜日日中のメールで早めに対応します。		

科目	仏典講読Ⅴ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	調 友希雄	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	親鸞聖人は、『仏説無量寿経』、『仏説親無量寿経』、『仏説阿彌陀経』を浄土三部経として大切にされた。本科目では、その中の『仏説阿彌陀経』を読んでいく。 本授業は仏教学科の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・『阿彌陀経』とは何かを理解する。 ・『阿彌陀経』(漢文)を声に出して読むことができる。 ・漢和辞典や仏教辞典で経典のことばを調べ、意味を取ることができる。 ・発表用のレジュメを作成し、発表し、自らの課題を発見することができる。 ・発表に基づいてまわりと議論し、自らの課題を深めていくことができる。 		
学習成果の評価基準	『阿彌陀経』とは何かの理解の達成度を測るために、到達度確認の小テスト及び授業内試験において、6割以上の解答ができることを評価基準とする。 授業内における積極的な発表・議論を「受講態度」の評価とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ガイダンス・授業概要の確認	授業要覧を読む(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
2.	『阿彌陀経』とは何か①	『真宗聖教全書一』を読む(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
3.	『阿彌陀経』とは何か② 「『阿彌陀経』とは何か」について的小テスト	『真宗聖教全書一』を読む(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
4.	序分	ノートを作成する(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
5.	正宗分(1) 讃極楽依正①	ノートを作成する(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
6.	正宗分(1) 讃極楽依正②	ノートを作成する(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
7.	正宗分(1) 讃極楽依正③	ノートを作成する(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
8.	序分および正宗分の讃極楽依正について的小テスト	ノートを作成する(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
9.	正宗分(2) 勸念仏往生①	ノートを作成する(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
10.	正宗分(2) 勸念仏往生②	ノートを作成する(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
11.	正宗分(2) 勸念仏往生③	ノートを作成する(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
12.	流通分 正宗分の勸念仏往生について的小テスト	ノートを作成する(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
13.	これまでの学習内容の振り返り(『阿彌陀経』についての発表・議論)	ノートを振り返り整理する(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
14.	これまでの学習内容とその受け止めについての授業内試験	ノートを振り返り整理する(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
15.	授業内試験についての振り返り	試験内容を復習する(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
教科書	『真宗聖典』、『真宗聖教全書一』、『岩波仏教辞典』、『新漢語林』、『古語林』		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	受講態度(30%) 小テスト(30%) その他【授業内試験】(40%)		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付	担当者に、直接お伝えください。メール、電話等でも受け付けます。		

科目	宗教法規	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	小田朋隆	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	宗教学法人法、単位数法人規則および真宗大谷派宗憲等の基本を学び、現代における仏教、教団および寺院の存在意義を考察する。 本授業は仏教学科の学習成果(6)に対応する。		
到達目標	国法（憲法や宗教法人法）と宗法（宗憲や諸条例）と仏法（仏教）の相互関係を課題的に受けとめ、かつそれらと自己自身との関係について認識を深める。		
学習成果の評価基準	法の成り立ちと作用に関する認識度を評価基準とする。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	当科目の全容の概説、アンケート	予習：授業概要および授業計画を把握する（120分） 復習：講義を振り返る（120分）	
2.	基本法規の概説 1	予習：授業計画の全体像をおさえる（120分） 復習：講義を振り返る（120分）	
3.	基本法規の概説 2	予習：各法規の役割をおさえる（120分） 復習：講義を振り返る（120分）	
4.	法制の背景としての教団史 1	予習：歴史を学ぶ意味をおさえる（120分） 復習：講義を振り返る（120分）	
5.	法制の背景としての教団史 2	予習：法制の変化をおさえる（120分） 復習：講義を振り返る（120分）	
6.	法制の背景としての教団史 3	予習：教団の構造をおさえる（120分） 復習：講義を振り返る（120分）	
7.	同朋会運動と教団問題 1	予習：信仰運動の動機をおさえる（120分） 復習：講義を振り返る（120分）	
8.	同朋会運動と教団問題 2	予習：普遍的問題の所在を確かめる（120分） 復習：講義を振り返る（120分）	
9.	真宗大谷派宗憲の意義	予習：宗憲の具体性を考察する（120分） 復習：講義を振り返る（120分）	
10.	宗教法人法の意義	予習：宗教法人法の具体性を考察する（120分） 復習：講義を振り返る（120分）	
11.	寺院規則、真宗大谷派規則の意義	予習：法人規則の具体性を考察する（120分） 復習：講義を振り返る（120分）	
12.	教団論 1	予習：教団の存在意義を考察する（120分） 復習：講義を振り返る（120分）	
13.	教団論 2	予習：現代における共同体の意義を考察する（120分） 復習：講義を振り返る（120分）	
14.	教学と教化（法の作用と誤用）	予習：宗教活動の本旨を考察する（120分） 復習：講義を振り返る（120分）	
15.	仏教学としての「宗教法規」	予習：宗教法制の全体像を確認する（120分） 復習：各法令の意義を把握する（120分）	
教科書	『真宗大谷派宗憲 宗教法人法』、『教団の歩み』、『真宗聖典』		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度50% 定期試験50%		
特記すべき事項	担当者の実務経験：真宗大谷派宗務役員、教学研究所属員、宗教法人代表役員（現職）		
質問・相談等の受付	メール対応可（アドレスは授業時に提示する）		

科目	声明作法Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	竹下秀覚	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	「声明作法Ⅲ」は、真宗大谷派の勤行形式で「昭和法要式」で行う。主に「伽陀、仏説阿彌陀經、和讃、音木」など、ご法事を中心に学ぶ。 本授業は仏教学科の学習成果(2)に対応する。		
到達目標	お聖教を唱和することの大切さを感じることが出来るようになる。 正確に読むようになる。		
学習成果の 評価基準	到達目標に明示している「お聖教の唱和の大切さ」「正確に読む」の達成度を測るために、到達度確認テストを実施し評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	お経を読む(仏説阿彌陀經)	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
2.	お経を読む(仏説阿彌陀經) 同朋奉贊式	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
3.	お経を読む(仏説阿彌陀經)	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
4.	お経を読む(仏説阿彌陀經)	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
5.	伽陀、仏阿彌陀經、和讃	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
6.	伽陀、仏阿彌陀經、和讃	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
7.	伽陀、仏阿彌陀經、和讃	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
8.	伽陀、仏阿彌陀經、和讃	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
9.	伽陀、仏阿彌陀經、和讃、音木	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
10.	伽陀、仏阿彌陀經、和讃、音木	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
11.	伽陀、仏阿彌陀經、和讃、音木	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
12.	伽陀、仏阿彌陀經、和讃、音木	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
13.	正信偈草四句目下、念佛和讃三洵	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
14.	伽陀、仏阿彌陀經、和讃	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
15.	伽陀、仏阿彌陀經、和讃、音木	声明集に目を通す(予習30分) 教材確認、授業の復習(復習30分)	
教科書	大谷声明集、御文籍古本、真宗の儀式		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 20% 達成度確認 20% 定期試験 60%		
特記すべき 事項			
質問・相談等 の受付			

科目	声明作法Ⅳ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	竹下秀覚	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	「声明作法Ⅳ」は、真宗大谷派の通夜・葬儀の勤行について学ぶ。また遺族の気持ち（グリーフ）に配慮した儀式執行についても学ぶ。 本授業は仏教学科の学習成果(2)に対応する。		
到達目標	お聖教を唱和することの大切さを感じることが出来るようになる。 正確に読めるようになる。		
学習成果の評価基準	到達目標に明示している「お聖教の唱和の大切さ」「正確に読む」の達成度を測るために、到達度確認テストを実施し評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	通夜・葬儀について	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
2.	通夜・葬儀について	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
3.	通夜・葬儀について	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
4.	通夜・葬儀について	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
5.	通夜・葬儀について	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
6.	通夜・葬儀について	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
7.	通夜・葬儀について	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
8.	通夜・葬儀について	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
9.	通夜・葬儀について	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
10.	通夜・葬儀について	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
11.	通夜・葬儀について	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
12.	通夜・葬儀について	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
13.	通夜・葬儀について	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
14.	正信偈真四句目下、念佛和讃五洵	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
15.	通夜・葬儀について	声明集に目を通す（予習30分） 教材確認、授業の復習（復習30分）	
教科書	大谷声明集、御文稽古本、真宗の儀式		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度 20% 達成度確認 20% 定期試験 60%		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付			

科目	真宗と社会	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	木屋行深	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	「真宗と社会」では、様々な現場において活動されている方々から、その現実と課題について講義をしていただき、座談形式で学習・攻究を行う。 本授業は仏教学科の学習成果(6)に対応する。		
到達目標	講義や学習・攻究を通して、社会の諸問題に眼を開くと共に、真宗を学ぶ者として、この社会でどのように生きていくのかについて考える		
学習成果の評価基準	到達目標の達成度を測るため、社会の諸問題を自分の課題としてどう捉えるのかを、積極的な授業参加(受講態度)と定期試験で評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	なぜ社会の問題が真宗の課題なのか①	配付資料を読む(予習120分) 授業内容を振り返る(復習120分)	
2.	なぜ社会の問題が真宗の課題なのか②	配付資料を読む(予習120分) 授業内容を振り返る(復習120分)	
3.	真宗とジェンダー①	配付資料を読む(予習120分) 授業内容を振り返る(復習120分)	
4.	真宗とジェンダー② ゲストスピーカー:草野龍子先生	配付資料を読む(予習120分) 授業内容を振り返る(復習120分)	
5.	真宗とジェンダー③	配付資料を読む(予習120分) 授業内容を振り返る(復習120分)	
6.	真宗と靖国問題①	配付資料を読む(予習120分) 授業内容を振り返る(復習120分)	
7.	真宗と靖国問題②	配付資料を読む(予習120分) 授業内容を振り返る(復習120分)	
8.	真宗と靖国問題③	配付資料を読む(予習120分)レポート作成(復習120分)	
9.	真宗と教誨① ゲストスピーカー:古賀祐法先生	配付資料を読む(予習120分) 授業内容を振り返る(復習120分)	
10.	真宗と教誨②	配付資料を読む(予習120分) 授業内容を振り返る(復習120分)	
11.	真宗と教誨③	配付資料を読む(予習120分) 授業内容を振り返る(復習120分)	
12.	真宗とグリーンケア① ゲストスピーカー:中島航先生	配付資料を読む(予習120分) 授業内容を振り返る(復習120分)	
13.	真宗とグリーンケア② ゲストスピーカー:中島航先生	配付資料を読む(予習120分) 授業内容を振り返る(復習120分)む	
14.	真宗とグリーンケア③	配付資料を読む(予習120分) 授業内容を振り返る(復習120分)	
15.	まとめ	配付資料を読む(予習120分) 授業内容を振り返る(復習120分)	
教科書	各テーマごとに資料を随時配布する。		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度(60%) 定期試験(40%)		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付			

科目	教化学実習Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 必修、専門科目
担当者	中島 航	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	1、2年生合同で「夏の法要」に向けた企画・学習・準備などを行い、計画に基づいて実施する。共同して一つの法要に取り組んでいくことを通して、現場に応ずる学びを深めていく内容。 本授業は仏教学科の学習成果(8)に対応する。		
到達目標	法要の概要や目的を理解することができる。 協働して法要を勤めることができるようになる。		
学習成果の評価基準	授業態度として法要の企画や準備を積極的に行っているか、他者と協力し合うことができているかを評価する。また前期の振り返りとして学期末のレポート提出でも評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ガイダンス 概要の確認と係の決定	予習：シラバスを読む(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
2.	事前準備① 法要の企画を行う(1)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
3.	事前準備② 法要の企画を行う(2)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
4.	事前準備③ 法要の学習を考える(1)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
5.	事前準備④ 法要の学習を考える(2)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
6.	事前準備⑤ 勤行の練習をする(1)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
7.	事前準備⑥ 勤行の練習をする(2)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
8.	事前準備⑦ 勤行の練習をする(3)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
9.	事前準備⑧ 法要の準備を行う(1)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
10.	事前準備⑨ 法要の準備を行う(2)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
11.	事前準備⑩ 法要の準備を行う(3)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
12.	事前準備⑪ 法要のリハーサルを行う	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
13.	「夏の法要」① 讃歌(真宗宗歌、回向、恩徳讃)、勤行(「正信偈」草四句目下、三洵)、学習発表、講話など	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
14.	「夏の法要」② 讃歌(真宗宗歌、回向、恩徳讃)、勤行(「正信偈」草四句目下、三洵)、学習発表、講話など	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
15.	事後総括 法要を総括する	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度(70%)、定期試験(30%)		
特記すべき事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付	随時、可。		

科目	教化学実習Ⅳ	開講時期 履修方法	2年後期 必修、専門科目
担当者	中島 航	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	1、2年生合同で仏教学科報恩講「冬の法要」に向けた企画・学習・準備などを行い、計画に基づいて実施する。協働して一つの法要に取り組んでいくことを通して、現場に必ずる学びを深めていく内容。本授業は仏教学科の学習成果(8)に対応する。		
到達目標	法要の概要や目的を理解することができる。 協働して法要を勤めることができるようになる。		
学習成果の評価基準	授業態度として法要の企画や準備を積極的に行っているか、他者と協力し合うことができているかを評価する。 また後期の振り返りとして学期末のレポートでも評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ガイダンス 概要の確認と係の決定	予習：シラバスを読む(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
2.	事前準備① 法要の企画を行う(1)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
3.	事前準備② 法要の企画を行う(2)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
4.	事前準備③ 法要の学習を考える(1)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
5.	事前準備④ 法要の学習を考える(2)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
6.	事前準備⑤ 勤行の練習をする(1)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
7.	事前準備⑥ 勤行の練習をする(2)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
8.	事前準備⑦ 勤行の練習をする(3)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
9.	事前準備⑧ 法要の準備を行う(1)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
10.	事前準備⑨ 法要の準備を行う(2)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
11.	事前準備⑩ 法要の準備を行う(3)	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
12.	事前準備⑪ 法要のリハーサルを行う	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
13.	仏教学科報恩講「冬の法要」① 讃歌(真宗宗歌、回向、恩徳讃)、勤行(「正信偈」真四句目下、五洵)、学習発表、法話など	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
14.	仏教学科報恩講「冬の法要」② 讃歌(真宗宗歌、回向、恩徳讃)、勤行(「正信偈」真四句目下、五洵)、学習発表、講話など	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
15.	事後総括 法要を総括する	予習：前年度実施内容を振り返る(30分) 復習：授業の内容を振り返る(30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度(70%)、定期試験(30%)		
特記すべき事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談の受付	随時可。		

科目	教化学演習 I	開講時期 履修方法	2 年前期 選択、専門科目
担当者	中島 航・吉元信暁	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	法話とは、私たちに語りかけてくるお聖教の言葉（法語）について、自分の体験を通して他人にも分かる言葉で話すことである。前期は、法話とは何なのか、どのような内容なのか、そして、法話の目的は何なのかを考え、アクティブラーニングを実施する。本授業は仏教学科の学習成果（5）に対応する。		
到達目標	法話とは何かを知り、原稿を考えて法話を行うことができる。日々の学びを法話として表現できるようになる。法話の聞き手、さらには普段、僧侶として接する目の前の人の気持ちを理解し、考える力を身につけることができる。		
学習成果の評価基準	授業の事前準備や小レポートの提出、授業中やグループワークにおける積極的な参加をもって「授業態度」の評価とする。また学期末に行う法話実習（学内で法話の実施）においても評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ガイダンス 授業概要のオリエンテーション	予習：法話とは何か考えてみる（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2.	法話とは何かを学ぶ① 「教化とは」 : 吉元信暁	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3.	法話とは何かを学ぶ② 「自信教人信とは」 : 吉元信暁	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4.	法話について考える座談（グループワーク）	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5.	法話を聞く 1-① 学外に法話を聞きに行く（鷲音忌法要：光善寺）	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6.	法話を聞く 1-② 学外に法話を聞きに行く（鷲音忌法要：光善寺）	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7.	法話を聞く 2-③ 学外に法話を聞きに行く（教区定例法話）	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8.	法話を聞く 2-③ 学外に法話を聞きに行く（教区定例法話）	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9.	法話原稿作成に関するオリエンテーション	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
10.	法話原稿作成① 法話の題材である「白骨の御文」を学ぶ	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
11.	法話原稿作成② 法話実習の原稿を考える	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
12.	法話原稿作成③ 法話実習の原稿を考える	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
13.	法話の発声、立ち振る舞いを学ぶ①：ゲストスピーカー 表現学科の教員より発声、話し方、立ち振る舞いを学ぶ授業	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
14.	法話実習のリハーサル 学内でリハーサルをする : 吉元信暁	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
15.	法話実習 学内で法話を実施する : 吉元信暁	予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
教科書	『真宗聖典』		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度（課題に対する取り組み姿勢など）（70%）、学期末法話実習（30%）		
特記すべき事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付	随時、受け付ける。		

科目	教化学演習Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	中島 航・吉元信暁	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	法話とは、私たちに語りかけてくるお聖教の言葉（法語）について、自分の体験を通して他人にも分かる言葉で話すことである。後期の学びは、2回ある法話実習での発表が中心となる。寺院での法話実習や、仏教学科報恩講での法話など、より実践的なアクティブラーニングを実施する。また「グリーフ」の学びや「人が亡くなりゆくこと」についても学び、僧侶として、人と向き合うとはどういうことかも考察していく。本授業は仏教学科の学習成果（5）に対応する。		
到達目標	法話とは何かを知り、原稿を考えて法話を行うことができる。日々の学びを法話として表現できるようになる。目の前の人に向き合ううえで大切なことは何かを考えて人と関わる力を身につけることができる。		
学習成果の評価基準	授業の事前準備や小レポートの提出、授業中やグループワークにおける積極的な参加をもって「授業態度」の評価とする。また寺院法話実習（近隣寺院で法話実施）についても評価する。学期末レポート試験（「冬の法要」法話原稿提出）。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	法話基礎実習Ⅰの振り返り : 吉元信暁	予習：前期を振り返る（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2.	「聴く」と「対話」 : ゲストスピーカー 臨床心理士の教員から人と人との対話について学ぶ	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3.	人が亡くなりゆくことと、その家族の気持ちについて学ぶ	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4.	「グリーフの学び」 僧侶と遺族のロールプレイを実施する	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5.	法話原稿作成① 後期の法話作成についてのオリエンテーション	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6.	法話原稿作成② 寺院法話実習での法話原稿を作成する	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7.	法話の発声、立ち振る舞いを学ぶ②：ゲストスピーカー 表現学科の教員より発声、話し方、立ち振る舞いを学ぶ	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8.	寺院法話実習① 近隣の寺院で法話を実施する	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9.	寺院法話実習② 近隣の寺院で法話を実施する	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
10.	法話実習（近隣寺院）の振り返り	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
11.	法話原稿作成③ 仏教学科報恩講での法話原稿を作成する	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
12.	法話原稿作成④	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
13.	法話原稿作成⑤ : 吉元信暁	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
14.	法話実習（「仏教学科報恩講」の法話）リハーサル① : 吉元信暁	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
15.	法話実習（「仏教学科報恩講」の法話）リハーサル② : 吉元信暁	予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
教科書	『真宗聖典』		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度（60%）、寺院法話実習（20%）、学期末レポート試験（20%）		
特記すべき事項	「仏教学科報恩講」当日は、当授業ではなく「教化学実習Ⅳ」の出席とする。各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付	随時受け付ける。		

科目	課題研究 I	開講時期 履修方法	2 年前期 選択、専門科目
担当者	青木 玲	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	卒業論文の提出に向けて、自らの課題を明確にする。前期は、卒業論文の中間発表を目標に、授業の中で発表を行う。本授業は仏教学科の学習成果 (5) に対応する。		
到達目標	自らの課題を明確にし、7月に卒業論文の中間発表を行う。本授業によって、仏教学科の学習成果 (5) を得ることができる。		
学習成果の 評価基準	授業内での発表を「授業内発表」の評価とする。		
	授業計画 (授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	授業概要	予習：「授業要覧」を読む (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
2.	レジュメの作り方	予習：発表の準備をする (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
3.	発表・質疑応答①	予習：発表の準備をする (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
4.	発表・質疑応答②	予習：発表の準備をする (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
5.	発表・質疑応答③	予習：発表の準備をする (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
6.	発表・質疑応答④	予習：発表の準備をする (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
7.	発表・質疑応答⑤	予習：発表の準備をする (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
8.	発表・質疑応答⑥	予習：発表の準備をする (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
9.	発表・質疑応答⑦	予習：発表の準備をする (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
10.	発表・質疑応答⑧	予習：発表の準備をする (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
11.	発表・質疑応答⑨	予習：発表の準備をする (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
12.	発表・質疑応答⑩	予習：発表の準備をする (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
13.	発表・質疑応答⑪	予習：発表の準備をする (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
14.	卒業論文中間発表①	予習：発表の準備をする (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
15.	卒業論文中間発表②	予習：発表の準備をする (30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する (30分)	
教科書	『真宗聖典』		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内発表 (50%)		
特記すべき 事項			
質問・相談等 の受付			

科目	課題研究Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	青木 玲・吉元信暁	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	卒業論文の内容を明確にすることを目標に発表を行う。 本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。		
到達目標	11月に卒業論文の発表を行い、1月には卒業論文を提出する。 本授業によって、仏教学科の学習成果(5)を得ることができる。		
学習成果の 評価基準	授業内での発表を「授業内発表」の評価とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	授業概要	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
2.	発表・質疑応答①	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
3.	発表・質疑応答②	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
4.	発表・質疑応答③	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
5.	発表・質疑応答④	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
6.	発表・質疑応答⑤	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
7.	発表・質疑応答⑥	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
8.	発表・質疑応答⑦	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
9.	発表・質疑応答⑧	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
10.	発表・質疑応答⑨	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
11.	発表・質疑応答⑩	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
12.	発表・質疑応答⑪	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
13.	発表・質疑応答⑫	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
14.	卒業論文発表①	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
15.	卒業論文発表②	予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
教科書	『真宗聖典』		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(50%) 授業内発表(50%)		
特記すべき 事項			
質問・相談 の受付			

科目	卒業論文	開講時期 履修方法	2年後期 必修、専門科目
担当者	三明智彰	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	<p>本学仏教学科の学びの集大成として、各自の研究課題に基づく研究成果を論文の形で発表します。卒業論文作成には、各自の研究課題を明らかにし、それについてどのように取り組んでいくかを検討しつつ、教員のアドバイスを受けて進めなければなりません。数回の卒業論文中間発表会に発表し、個別に教員と相談しつつ、下記進めていきます。一人一人の論文指導を担当する教員を活用してください。本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。</p>		
到達目標	自分自身の仏教の受け止めを、誤りなく正確に論述することができるようになる。		
学習成果の評価基準	論文の内容と口頭試問によって、読解力、思考力、表現力、コミュニケーション能力の達成度を判断評価する（各25%）。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.			
2.			
3.			
4.			
5.			
6.			
7.			
8.			
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	卒業論文と口頭試問 詳細を年度初めに説明します。		
特記すべき事項	読解力、思考力、表現力、コミュニケーション能力を無学用に勤める。		
質問・相談の受付	授業と平日日中のメールに随時応答します。		